企業認知度度調査の結果について

実施目的：

①企業における学校との連携に対する考え方を調査する。

②地元企業に豊野高等専修学校の中身を知ってもらうための足掛かりにする。

実施時期：令和７年１２月

対象企業：無作為に選定した地元企業１６５社

実施方法：アンケートを郵送により送付し Web フォームで回答

調査結果：有効回答２８社

質問項目：

問1 「専修学校」という学校種をご存じでしたか
問2 専修学校には「高等課程」と「専門課程」があることをご存じでしたか
問3 豊野高等専修学校をご存じでしたか
問4 豊野高等専修学校の高等課程は4つあることをご存じですか （生活服飾コース、生活情報コース、生活美術コース、生活介護コース）
問5 豊野高等専修学校の専門課程は２つあることをご存じですか （服飾デザインコース、情報デザインコース）
問6 通信制の高等学校「さくら国際高等学校長野キャンパス」 「日本航空高等学校長野サテライト」があることをご存じですか
問7 次の中から企業連携において、ご検討いただけるものを教えてください（複数回答可）
問8 メタバース上への「企業ブース」への出展にご協力いただけますか
問9 メタバースブースで提供可能なコンテンツは何ですか（複数回答）
問10 メタバース上で生徒との交流（リアルタイム対話）は可能ですか
問11 欠番（シート作成上）
問12 本校で実施するキャリア講座の講師派遣にご協力いただけますか
問13 本校の生徒を対象とした職場見学・工場見学の受け入れにご協力いただけますか
問14 ご協力可能な時期はいつですか（複数回答）
問15 受け入れ可能な生徒の人数（複数回答）
問16 特に紹介したい業務内容や職種はなんですか
問17 専修高等学校のどのような専門課程の生徒に来てほしいですか（複数回答）
問18 学校との連携において、懸念される点は何ですか（複数回答）
問19 学校側にどのようなサポートや情報提供を期待しますか
問20 今後、本校との連携について情報提供を希望されますか

課題１：認知はあるが“理解の深さ”が足りない（コースと特色が伝わっていない）

根拠（データ）

・「専修学校」という学校種の認知：はい 82%（問 1）

・しかし、内容の理解は落ちる

高等課程が 4 つある認知：はい 46%／いいえ 54%（問 4）

専門課程が 2 つある認知：はい 43%／いいえ 57%（問 5）

関連拠点（長野キャンパス・サテライト等）の認知：はい 21%／いいえ 79%（問 6）

対策

１.企業向けに“1 枚でわかる”説明資料を再設計

・「専修学校とは」→「豊野高等専修学校の強み」→「学科/コース」→「連携メニュー」までをフローチャート等を使った説明資料を作成し HP へも掲載する。

2.認知の段階別にコンテンツを分ける（浅→深）

・浅：30 秒で分かる図解（学校種・対象学年・進路）

・中：コース別に、できること・就職先イメージ

・深：連携事例・受入の流れ・安全体制（後述の課題 3 対策とも接続）

3.接点の多い業種に寄せた“業種別版”を作る（製造/建設など）

・「この業種ならこう連携できる」例（見学、職業紹介、求人、動画、対話）示す。

課題 2：連携は興味があるが“判断材料不足”で止まっている

根拠（データ）

・メタバース企業ブース出展への協力：
はい 14%、条件次第 25%、担当者から直接説明を聞きたい 14%、いいえ 47%（問 8）
→ 「条件次第＋まず説明」だけで 39%。ここを動かしていくのが早い。

・リアルタイム対話（メタバース上）は迷いが大きい：
はい 19%／時期による 31%／いいえ 27%／回答なし 23%（問 10）

・キャリア講座の講師派遣：いいえ 61%（問 12）

対策（打ち手）

1.連携メニューを「負担の軽い順」に 3 段階で提示（選びやすくする）

・ライト：求人情報掲載・職業紹介スライド提供（問 9 でニーズ最大級：各 26%）

・スタンダード：会社紹介動画（20%）・製品/サービス展示（8%）・社員対話（11%）

・プレミアム：リアルタイム対話、バーチャル工場見学（3%）、現地見学受入（問 13）

2.“条件次第”の条件を先回りして明記する

・所要時間（例：準備 30 分／当日 60 分）

・出演人数（例：1 名でも可）

・NG 事項（撮影可否、守秘範囲）

・学校側が提供するサポート（台本、司会、事前質問回収、トラブル一次対応）

3.説明会（30 分）＋ミニ実証（1 社）で心理的ハードルを下げる

・「まず説明を聞きたい 14%」の導線を用意し、体験ベースで“できそう感”を作る。

課題 3：受入オペレーション（準備・安全・担当者確保）がボトルネック

根拠（データ）（問 18：懸念点）

- 受け入れ態勢の整備：23%
- 事前準備の負担：20%
- 安全管理の責任：16%
- 担当者の確保：12%
- デジタル対応の技術：9%

また、受入規模も“小さく”負担なくできることがポイント

- 受け入れ可能人数：1〜5 名が 60%（問 15）
- 職場見学・工場見学の受入：はい 43%／条件次第 25%／いいえ 32%（問 13）

対策（打ち手）

1.学校側が「受入キット」を標準化して企業負担を減らす

・事前：当日の流れテンプレ、注意事項、質問例、参加者情報フォーマット

・当日：安全説明スライド、チェックリスト、緊急時連絡フロー

・事後：参加報告テンプレ、企業紹介文の確認フロー

2.“安全責任”の不安を下げる設計

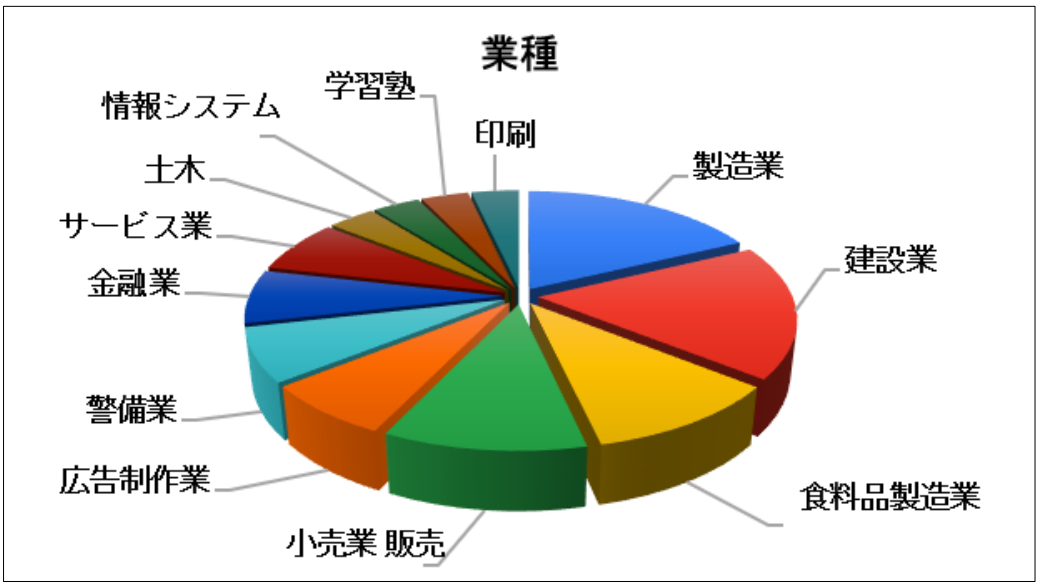
・立入範囲の固定、撮影ルール、保護具、引率体制、保険・同意書の整備（学校が雛形を提供）

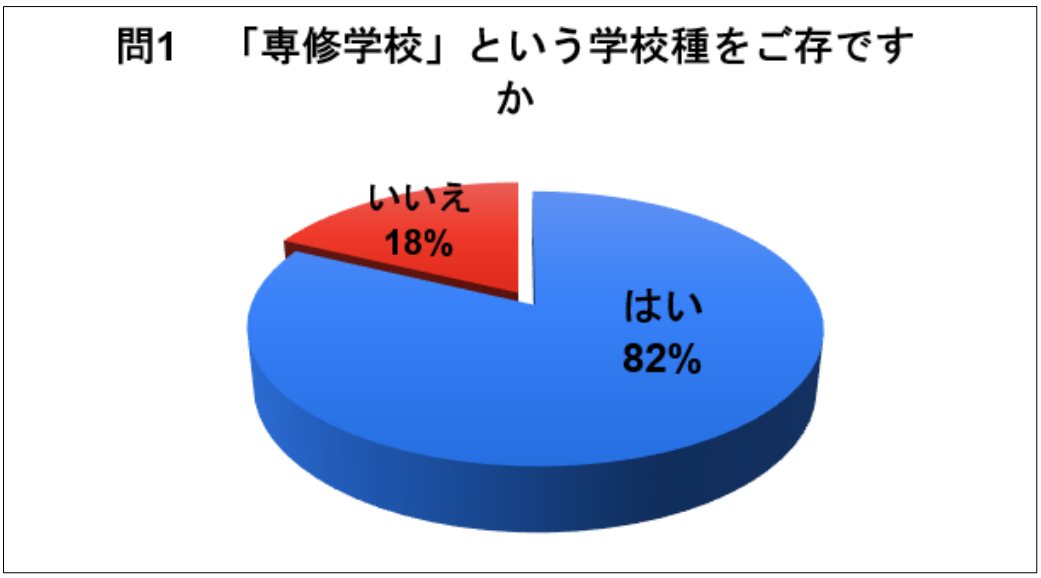
3.小規模（1〜5 名）前提の見学をデフォルト化

・60%が小規模志向なので、最初から「少人数・短時間・月 1 回」などで提案すると成立しやすい。

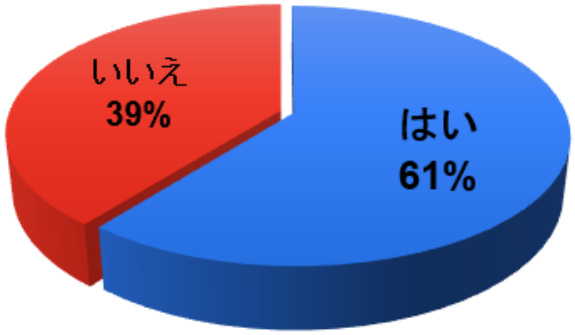
4.デジタル不安（9%）には“学校側の運用”でカバー

・企業は素材提供（動画/スライド/求人）だけ、メタバース実装や当日運営は学校側（事務局）が担う形に寄せる。

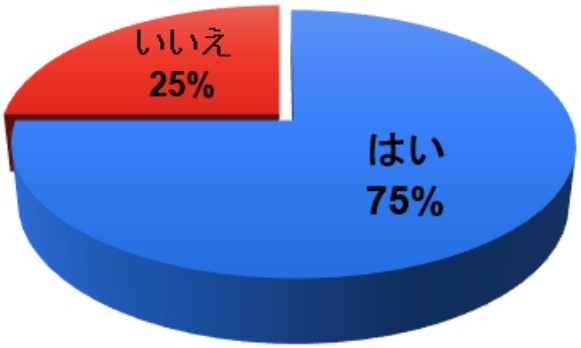




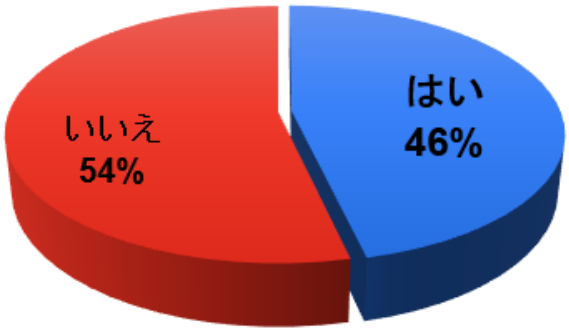
問2　専修学校には「高等課程」と「専門課程」があることをご存じでしたか



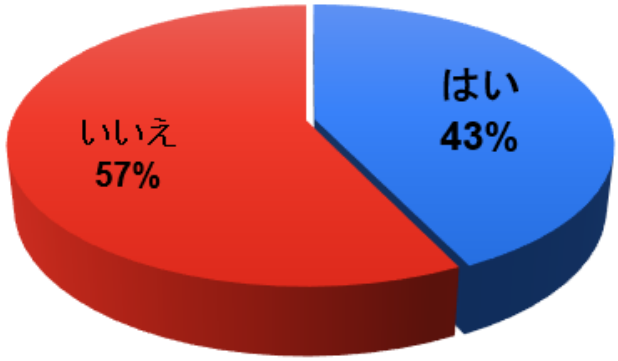
問3　豊野高等専修学校をご存じでしたか



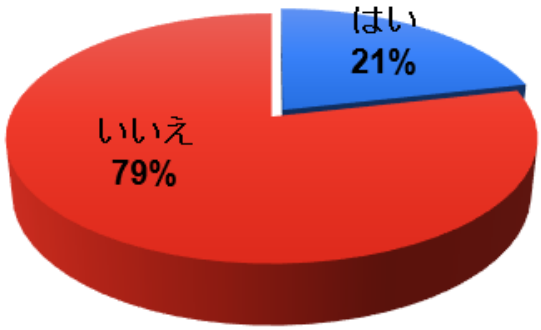
問4　豊野高等専修学校の高等課程は4つあることをご存じですか
（生活服飾・生活情報・生活美術・生活介護）



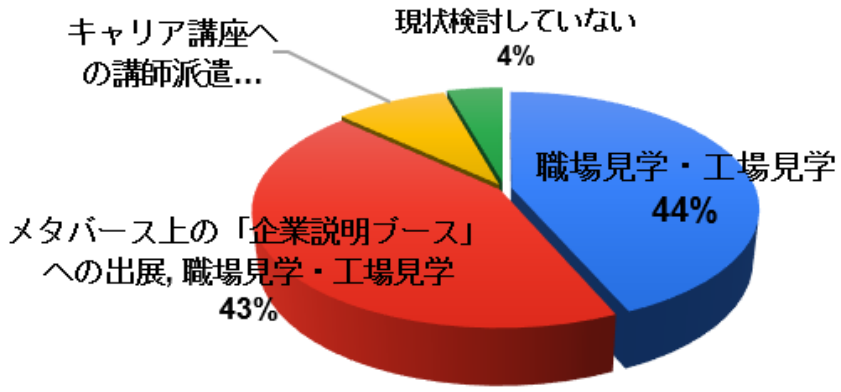
問5　豊野高等専修学校の専門課程は２つあることをご存じですか（服飾デザインコース・情報デザインコース）



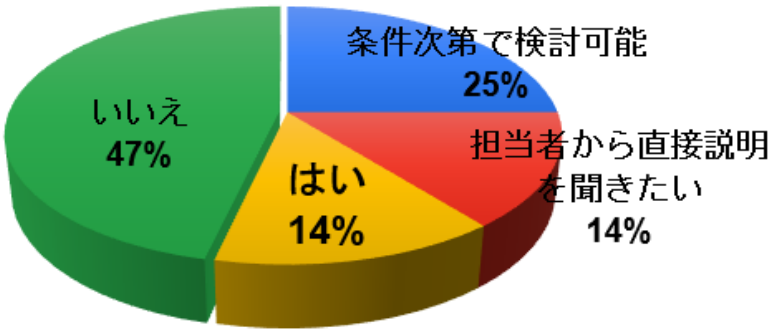
問6　通信制の高等学校「さくら国際高等学校長野キャンパス」「日本航空高等学校長野サテライト」があることをご存じですか



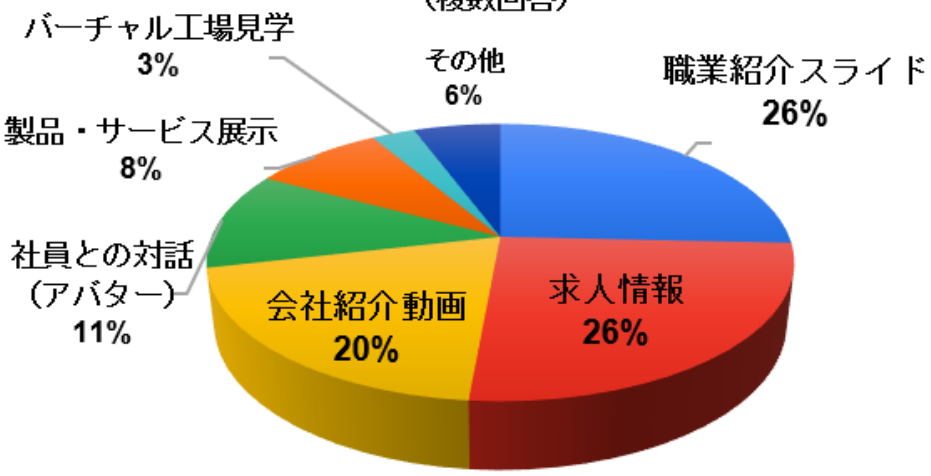
問7　次の中から企業連携において、ご検討いただけるものを教えてください（複数回答）



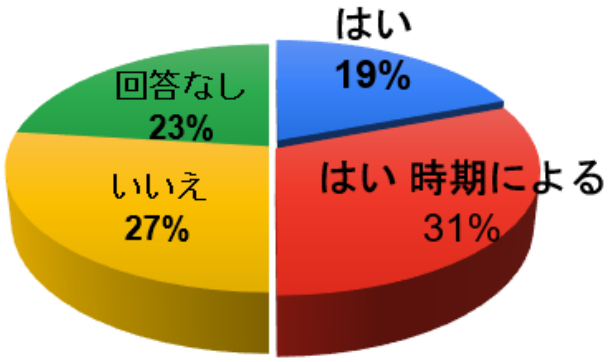
問8　メタバース上への「企業ブース」に出展をご協力いただけますか



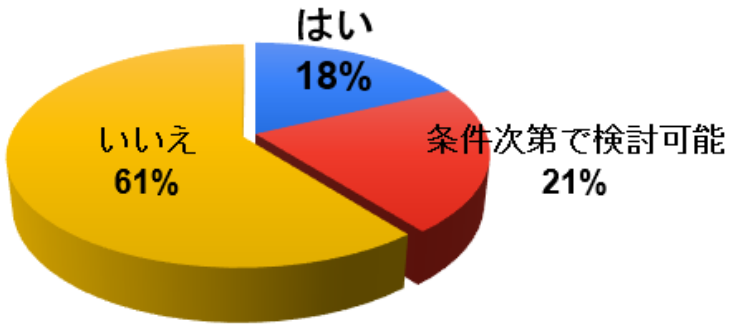
問9　メタバースブースで提供可能なコンテンツは何ですか（複数回答）



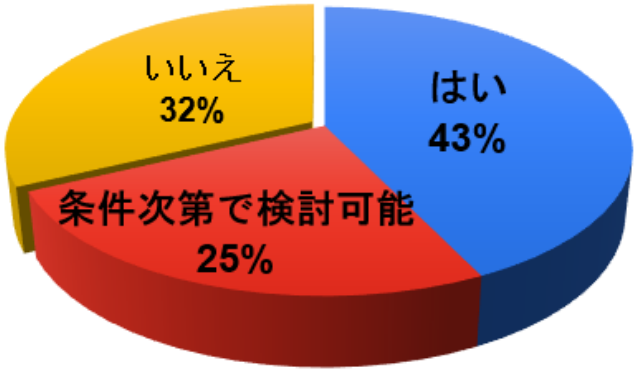
問10　メタバース上で生徒との交流（リアルタイム対話）は可能ですか



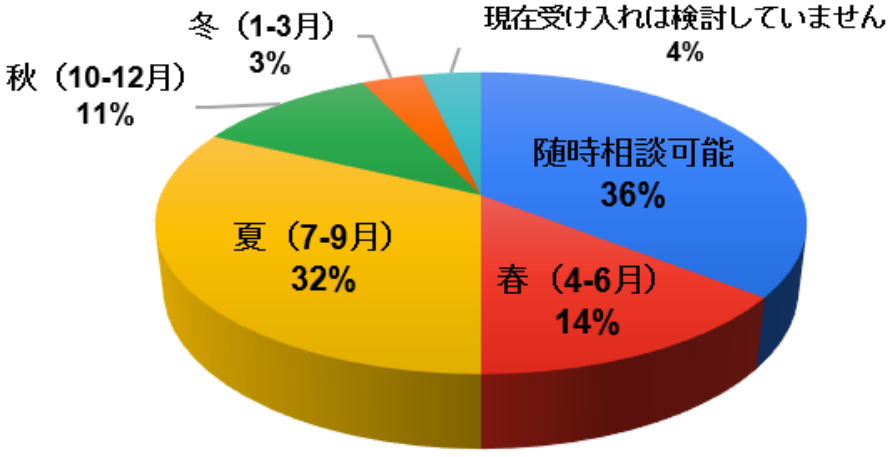
問12　本校で実施するキャリア講座の講師派遣に
ご協力いただけますか

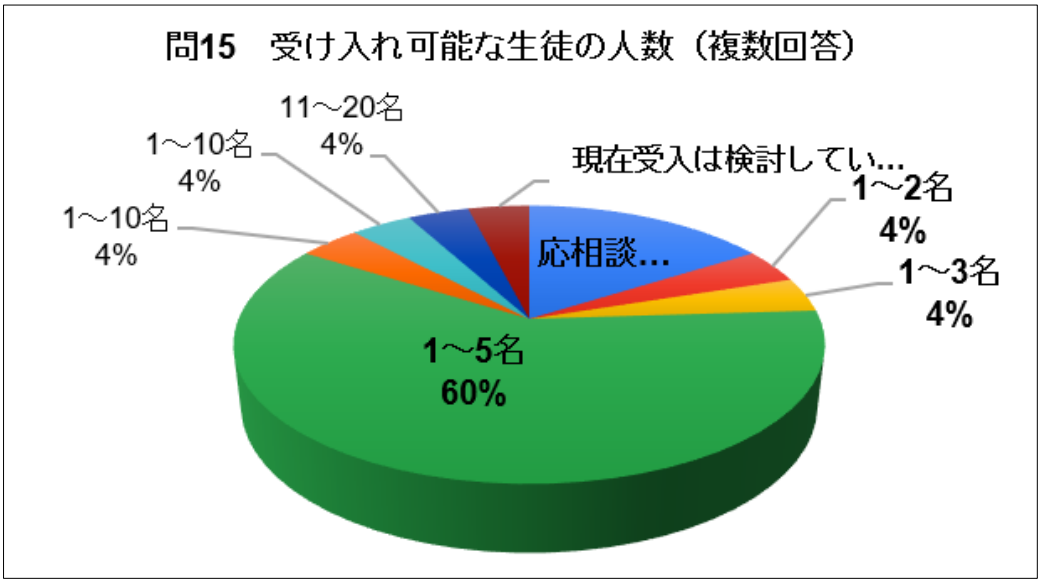


問13　本校の生徒を対象とした職場見学・工場見学の
受け入れにご協力いただけますか

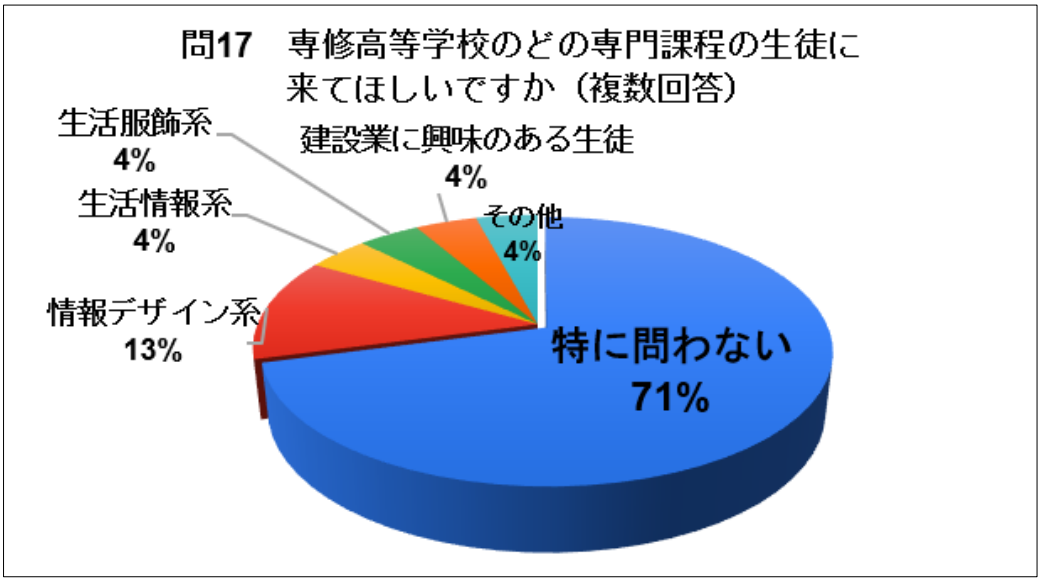


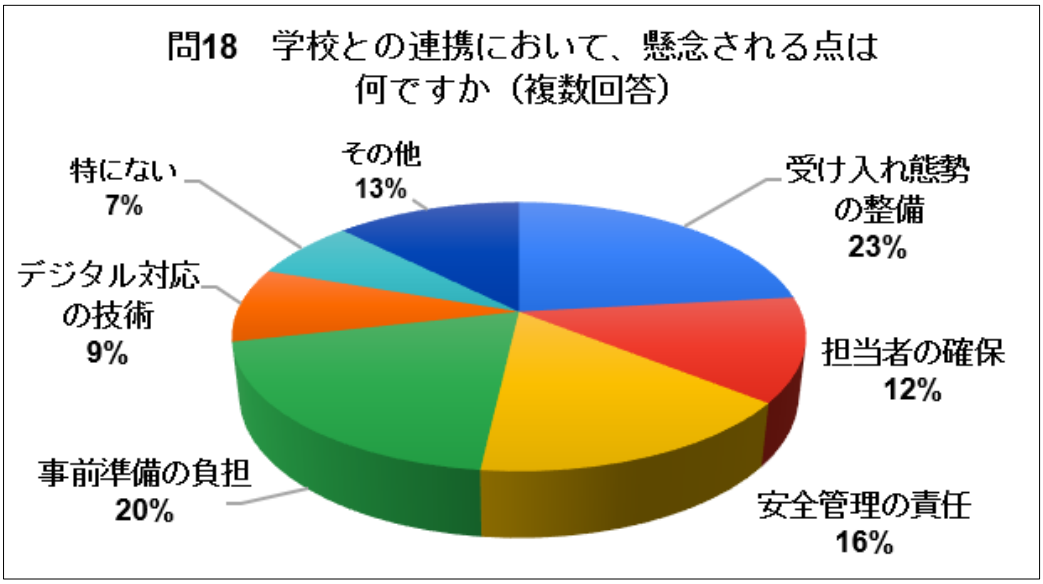
問14　ご協力可能な時期はいつですか（複数回答）





問16　特に紹介したい業務内容や職種はなんですか
土木工事業、建築工事業
電算部、印刷部、製本部、業務部
設計制御
製造ライン
生産現場の技能職
整備職
常駐警備スタッフ
施設警備（警備職）
小麦粉製造
市場、野菜、果物に興味のある方
工事現場の技術者、技能者
現場監督、大工
機械メンテナンス、整備
外国語教室
果汁製造の製造職
ロッカー等の板金、塗装等の業務。マシンオペレーター
リノベーション（ビンテージビルプロジェクト）など
ボーリング工事
ウェブサイト運用作業





問19　学校側にどのようなサポートや情報提供を期待しますか
生徒・学生の地元企業での就職について、どのように感じているか
情報提供をいただきたい。
人とのかかわりが多い職場です。対応できる性格かどうかなどお願いします。
事前に準備しておいた方が良いものなど、ご連絡いただけたらと思います。
事前によくお話をお聞きしたい。
生徒さん次第
今のところ分からない
現状不要です。
リアル提携について、弊社は薬品や大きな装置を使用している部分もあるため、特性によっては見学の際に安全面について特に配慮が必要な生徒さんもいると思いますが、どこまで近づいてもらっても大丈夫かの判断が社内の人間で判断フォローするのが難しい面について。

問20　今後、本校との連携について情報提供を希望されますか

